

# 町政を問う 一般質問

## 渡部正司議員 (P12)

- 「干ばつ対策本部」の仕事は何か
- 「干ばつ対策本部」の対応について
- 「干ばつ対策本部」の報告方法について
- 「干ばつ対策本部」の対応は当事者意識が希薄だ、との指摘をどう受け止めるか
- 今回の干ばつによる農家の減収、被害額、および町税の減収等の被害状況について
- 今後の干ばつ対策の総括は
- 基幹産業である農業を自然災害からどのように守っていくのか

## 小畑博司議員 (P13)

- 獣害被害の現状と、今後の予測についての考えは
- 防災体制の見直しが必要ではないか
- 行政組織の維持についての方策は
- 残留放射性物質についての考えは
- 義務教育におけるICT化の功罪をどのように考えるか

## 佐藤宗太議員 (P14)

- 協働のまちづくりについて
- 観光行政について
- 当町の知的財産に関する取り組みの現状と今後は
- 地域団体商標登録に向けた取り組みの現状と今後の予定は

## 猪俣恒雄議員 (P7)

- 急増する外国人労働者について
- 町長の政治姿勢について

## 五十嵐一夫議員 (P8)

- 建築計画に町の「規則」を遵守しよう
- バスを中心とした公共交通が、もっと利用者側にたって利用の促進向上を図れ
- 人口問題、交流人口の維持・拡大の取組として、高校の存続とホテルの誘致を

## 山口享議員 (P9)

- 町長の政治姿勢について
- 道の駅あいづ湯川・会津坂下について
- 教育環境について

## 赤城大地議員 (P10)

- 公共施設等総合管理計画について
- 近隣市町村との広域連携について

## 横山智代議員 (P11)

- 学校教育環境の整備について
- 国民健康保険税について
- 高齢者へのサポート、地域とのかかわりについて

## 審議案件に対する賛否の状況 (賛否が分かれた議案)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
	物江	赤城	横山	渡部	小畑	佐藤	山口	三橋	青木	五十嵐	渡部	五十嵐	水野	酒井	猪俣	古川
	政博	大地	智代	正司	博司	宗太	享	薫	美貴子	正康	順子	一夫	孝一	育子	恒雄	庄平
平成29年会津坂下町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議長
平成29年会津坂下町坂下東第一地区土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議長
平成29年会津坂下町水道事業会計決算認定について	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議長
会津坂下町長の辞職勧告決議について	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	議長

上記以外の議案は賛成全員で可決しました。○：賛成 ×：反対 欠：欠席 議長は採決に加わりません

## 審議したその他の議案

### 条例改正

- 会津坂下町税条例の一部を改正する条例
- 会津坂下町コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

### 29年度決算認定

- 国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定
- 介護保険特別会計歳入歳出決算認定
- 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定
- 下水道事業特別会計歳入歳出決算認定
- 農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定

### 30年度補正予算

- 一般会計 (第2号)
- 国民健康保険特別会計 (第2号)
- 介護保険特別会計 (第2号)
- 後期高齢者医療特別会計 (第1号)
- 下水道事業特別会計 (第2号)
- 農業集落排水事業特別会計 (第2号)
- 水道事業会計 (第2号)

# 新庁舎建設の進捗状況と今後の方針は

## 平成32年着工を延期したい



猪俣 恒雄 議員

P F I (Private Finance Initiative) とは、民間資本主導の略。公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用する手法のこと。

**問** 耐震性に乏しい現庁舎、従来とは異なる建設、発注方法の試算は。

**問** 新庁舎建設の進捗状況と今後の方針は。  
**答弁** 齋藤町長  
近年の地方交付税の伸びの減少、減額、さらに扶助費の急増等から再度の財政状況の検証が必要との見地から、来年度以降今後10年間の財政シミュレーションを策定した結果、庁舎建設に着手しない場合であっても大変厳しい財政状況が予想されることから判明し、平成32年度着工を延期すべきとの判断を下したところです。

**答弁** 齋藤町長  
老朽化した現庁舎は耐震性の観点からも防災拠点としての役割を果たすことができない為、庁舎建設は最重要事業の位置づけとして進めてまいります。  
実施手法については、P F I やレンタル方式など様々な事業手法が考えられます。町が事業を実施していく上で何がもっとも経済的で最適な手法なのか検討し建設実現に向け今後とも精進して取り組んでまいります。

## 糸桜里の湯の今後の方針は

### 平成33年度以降民間への売却を基本方針とする

**問** 財政健全化の面から町の指定管理施設糸桜里の湯やバンビへの今後の方針は。

**答弁** 荒井政策財務課長  
糸桜里の湯はんげについては、施設の老朽

化にともなう修繕費用の増加や町全体の事業見直しにおいて、長期の財政計画を予測したときに、住民サービス及び財政に与える影響

が大きいことから、指定

期間が終了する平成33年度をもって、指定管理制度から除外、民間への売却を基本方針とし、具体的な手続き等を整理しながら作業を進めてまいります。  
N P O 法人スポーツクラブバンビに委託している都市公園の管理については効果的な活用が図れるよう、町民の立場に立った管理、運営を目指します。



糸桜里の湯

#### これも質問

**問** 外国人労働者の現況は。

**答弁** 村山生活課長

8月末148名と年々増加。

**問** 外国人労働者の国保税徴収状況は。

**答弁** 村山生活課長

580万円が未納になっています。

# 安兵衛通り歩道の確保を

## 協議はしたが大店法の指針によつた



五十嵐一夫 議員

**問** 通称安兵衛通りに  
ついて、壁面位置の制  
限により、歩道空間の  
確保が守られているの  
か。

り、駐車スペースの不  
足が生じるため、後退  
できないという結論に  
至りました。

判りやすく言えば、  
境界から自分の敷地に  
2m以上後退し、そこ  
を歩道に提供させる指  
導であります。この度  
のスーパー改築オープ  
ンの工事に際し、なぜ  
この規定が遵守できな  
かったのか。

**答弁** 青木建設課長

地区計画の内容に  
沿って歩行者空間を確  
保することなど協議を  
しました、大規模店舗  
立地法に関する指針で  
駐車場確保の項目があ

**問** 坂下西第2土地  
画整理地区において、  
建物軒先が隣地境界よ  
り1m以上の協定の規  
定がなぜ遵守されない  
のか。

**答弁** 青木建設課長

協定が遵守されてい  
ないケースも見受けら  
れるが、ほとんどの方  
にご協力いただき、一  
定の効果は得られて  
いるものと考えていま  
す。



地区計画により広く整備された歩道

## バス交通、利用者側にたった利用向上を

### 地域間幹線系統の路線の研究をしている

**問** バスは走っている  
が乗るに乘れないバス  
がある。

地域間幹線系統の乗  
降調査等を実施し、利  
用実態の把握に努めて  
います。

公共交通の隣接市町  
村との提携・協力の取  
組の研究・議論がなさ  
れているのか。

会津若松市を中心に  
担当者会議を定期的に  
実施し情報交換、利用  
者からの声を材料に、

**答弁** 荒井政策財務課長

西会津町の町民バス  
は運輸支局の登録の関  
係から、重複している  
経路内での乗降はでき  
ないことになっていま  
す。

地域間幹線系統の路線  
のあり方等を、意見交  
換し研究しています。

**問** 小銭を必要としな  
いなど、料金について  
簡便な方法などの研究  
をしているのか。

現状では、本町の二  
つの県立高校が統合の  
対象に位置づけられる  
ことは大変残念です。  
両校の存続について  
積極的に声を大にして  
訴えていきます。

**答弁** 荒井政策財務課長

一律運賃は利用者の  
不公平感と割引分の減  
収を補えないこともあ  
り、現実的でありませ  
ん。

**問** ホテル誘致の行動  
を促すが。

**答弁** 板橋産業課長

企業誘致のひとつと  
して取り組んでいきま  
す。

会津乗合自動車株式  
会社においてはIC化  
カードの導入の検討が  
進められています。

**これも質問**

**問** 高校存続に努力を  
してきたのか、見える  
ような存続への努力を  
していく考えは。

**答弁** 齋藤町長

福島県教育委員会の  
方針で10年間で100  
学級減らす方針が示さ  
れました。

# 新庁舎建設について公約不履行の責任は

## 説明責任を果たすべく対応します



山口 享 議員

**問** 公約不履行の責任はどのように考えるか。

**答弁** 齋藤町長

延期に際しましては、町民の皆様などへ混乱と行政への不信感を与えてしまい、お詫び申し上げるとともに、説明責任を果たすべく真摯に対応してまいりたいと考えております。

**問** 地権者への説明は。  
**答弁** 荒井政策財務課長  
説明にあたりましては、これまでの説明内容と違った方向となることから深くお詫び申し上げますとともに、真

摯に対応してまいりたいと考えております。

**問** 新庁舎の建設はいつか。

**答弁** 荒井政策財務課長

時期につきましては、町民の不安感の払拭のためにも財政的裏付けが最も重要であり財政シミュレーションにおいて当面厳しい状況が続くことから、第六次振興計画の前期計画期間を財政健全化へ向けた集中期間として位置付け、財政的裏付けを担保した中で後期計画期間内に適正な時期に建設に着手したいと考えております。

### 道の駅の株式会社湯川・会津坂下が起こした訴訟について

#### 訴状を福島地方裁判所会津若松支部に提出したものです

**問** □頭弁論・弁論準備手続が行われたのか。

**答弁** 荒井政策財務課長

この訴訟は、株式会社湯川・会津坂下が「道の駅あいづ湯川・会津坂下」内でテナントの賃貸借契約を締結している一社に対し起こしたもので、占有面積や営業形態が当初契約時と違った状態にあることや、販売手数料率が会社創設時の株主総会で決められた料率と異なっていることなどを是正するため、契約内容の変更についての協議を行いました。合意には至りませんでした。このため、契約期間が昨年8月31日をもって満了したことから、物権の明け渡しと賃料相当損害額の支払い等を求めて提出した

ものです。

**問** □頭弁論・弁論手続

きは、今年3月23日に第1回目が行われて以降、7月19日までに4回行われ、9月5日に5回目が行われております。

**問** 現在の状況について。

**答弁** 荒井政策財務課長

現在の状況は、双方一定の歩み寄りによる解決が最善との考えのもと協議をすすめており、引き続き最善の解決が図られるよう進めて参ります。



道の駅あいづ湯川・会津坂下 農家レストラン「くうべえる」



赤城 大地 議員

# 老朽化する施設等の更新をどのように考えるか

## 財政に鑑みながら教育施設を優先し更新します

**問** 公共施設総合管理計画について、インフラを含めた多くの施設

において老朽化が目立つが何を最優先とし、どのように維持管理、更新していくのか。

**答弁** 荒井政策財務課長

本町では、耐用年数を迎える施設が大半を占め、その維持管理及び更新費用は、約280億円と試算され、現在の厳しい財政状況から、全ての施設更新は困難であることから、効果的な長寿命化・施設保有数の適正化により、財政負担の軽減・

平準化を図る必要がありますと考えております。

今後は、現在も実施している日常の施設点検を継続しながら利用者の安全を確保するとともに不要な施設の廃

止・売却・除却を進め、保有数量の適正化に努めます。また、施設の更新については町民の生活に影響が大きい施設を優先的に進め、特に学校、庁舎、子育て施設、社会教育施設については最優先として取り組みます。



老朽化の進む金上コミュニティセンター体育館

## 近隣市町村との連携をどのように考えるか

### 財政健全化にとっても重要かつ必要であると考えます

**問** 近隣市町村との広域的な連携について、どのようなものと考えているのか。

**答弁** 齋藤町長

私たちを取り巻く環境は、少子高齢化を一端とする中で大きな変化を見せており、住民の生活は一つの自治体を超えた広がりを見せております。

一部事務組合や各種協議会など、共通の課題や目的に対し、近隣市町村が連携し事業を

進めているものもあり、住民の生活圏の広がりを踏まえたうえで近隣市町村が一体となり、広域行政・広域連携の視点から、様々な取り組みを進めていく必要があると考えます。

また財政健全化を考えたときにも、重要なことと捉え、共同で事務手続きを実施したほうがより効果的な業務については、今後取り組んでまいりたいと考えます。